

道徳科 学習指導案

平成29年11月6日（月）第2校時（1の1教室） 1年1組 指導者

I 主 題 ともだちをおもうころ

II 考 察

1 主題観

(1) 育まれる主な資質・能力の三つの柱

③学びに向かう力・人間性等
進んで友達と仲よくしようとする態度

①知識・技能
友達と仲よくすることについての理解

②思考力・判断力・表現力等
友達と仲よくすることについての自己の考え

(2) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

B 主として人との関わりに関すること
12 友情，信頼〔第1学年及び第2学年〕
友達と仲よくし，助け合うこと。

(3) 主題や教材の価値

本主題は「友情，信頼」の内容項目のうち，友達と仲よくすることのよさについて考える学習である。その価値は以下のとおりである。

友達と仲よくすることはよいことである。なぜなら，友達と一緒に遊んだり勉強したりすると，楽しい気分になったり一人ではできなかったことができるようになったりするからである。しかし，子どもたちは，幼児期の自己中心性から十分に脱していないため，自分のやりたい気持ちを通して，友達と衝突してしまったり進んで関わろうとしなかったりすることもある。だからこそ，子どもたちが友達と仲よくすることのよさに気づき，友達と仲よくして生活しようとする思いを高めていくことが大切である。

子どもたちは，休み時間や授業の際に，友達と遊んだり話したりすることを楽しんでいる。しかし，相手の気持ちに気付かずに，友達の話をよく聞かなかったり，自分勝手に行動してしまったりして，友達と仲よくできないことがある。このような子どもたちが，友達と仲よくすることのよさについて考えることは，進んで友達と仲よくしようとする態度を養うことにつながる。

そこで，教材「二わのことり」（光文書院）を使用する。教材の内容及び価値は，以下のとおりである。

山奥の寂しいところに住むやまがらの誕生日会と、林の中の明るいところに住むうぐいすの家での音楽の稽古が、同じ日に行われた。どちらに行くか迷ったみそさざいは、他の小鳥達と一緒にうぐいすの家に行く。しかし、やまがらのことを考えると楽しくなく、みそさざいはこっそりうぐいすの家を抜け出して、やまがらの家に行く。喜ぶやまがらの姿を見て、みそさざいは嬉しくなる、という内容である。

登場人物の姿から、子どもたちは、友達の気持ちを考えて寂しくなったり嬉しくなったりする友達関係に気付くことができる。そして、友達と仲よくすることのよさについて考えることができる。

(4) 今後の学習

ここでの学習は、2年「やさしい気持ち」での、相手の立場や状況を考えて助け合える友達の温かさを感じ、困っている友達を助けることの大切さについて考える学習へと発展していく。

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちはこれまでに、1年「ともだちのわ」において、たくさんの友達と仲よくしていくことの大切さについて考える学習をしてきた。その中で明らかになった子どもたちの実態及び本主題を進めるにあたっての指導方針は、以下のとおりである。

楽しい生活を送るためには、友達の気持ちを考え、助け合って一緒に遊ぶことが大切であることを理解してきている。このような子どもたちが、友達と仲よくすることが大切であることを理解できるように、主人公と登場人物の仲よしの当否を問う学習課題を設定する。

② 友達の気持ちを考え、助け合って一緒に遊びながら生活することのよさについて、自分との関わりで多面的・多角的に考えることができている。このような子どもたちが、友達と仲よくすることのよさについて、自分との関わりで、多面的・多角的に考えられるように、主人公と登場人物の仲よしの程度についての自らの考えを、常時示すことのできるメーターを用意する。

③ 友達の気持ちを考え、助け合って一緒に遊びながら生活しようとする態度を養ってきている。このような子どもたちが、進んで友達と仲よくしようとする態度を養えるように、学習したことを基に今までの自らの生活を振り返り、これからしていきたいことを記述する学習プリントを用意する。

Ⅲ 指導計画 ※Ⅲについては、別紙参照

Ⅳ 本時の学習

- 1 ねらい みそさざいとやまがらの仲よしの当否とその理由について話し合うことを通して、友達と仲よくすることのよさに気づき、実践しようとする態度を養う。
- 2 準備 場面絵 メーター 学習プリント
- 3 展開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
1 友達と仲よくすることについての自らの考えを発表し合い、教材から、学習課題「みそさざいさんとやまがらさんは仲よしなのだろうか。」をつかむ。	○友達と仲よくすることについての自らの考えを明確にできるように、友達と仲よくすることの意味を問いかける。 ○教材「二わのことり」の内容を把握できるよ

- ・一緒に遊ぶことが仲よしだよ。
- ・みそさざいさんは、最初はうぐいすさんの家に行ったけど、途中でやまがらさんの家に行ったよ。
- ・仲よしならうぐいすさんの家には行かないかもしれないな。どちらだろう。

2 学習課題の解決に向けて話し合う。

- ・仲よしだと思ふな。だって、かわいそうなやまがらさんの家に行ってあげたからだよ。
- ・最初からやまがらさんの家に行かなかったから、仲よしじゃないという意見もあるな。確かに、少しそう思うから、仲よし度をちょっと下げようかな。
- ・やまがらさんが悲しい思いをしたままだと嫌だから行ったのだよ。誰も行かないから仕方なく行ったのではないと思うな。
- ・確かにうぐいすさんの家は楽しそうだし、みんなもいるから、行きたくなるかもしれないけど、やまがらさんのことを思うと楽しめないのではないかな。
- ・やまがらさんが喜ぶのを見て、みそさざいさんも嬉しくなっているね。この2人はきっと仲よしだよ。
- ・楽しいことがもっと楽しくなって、悲しいことは少しになるところがいいと思うな。

3 今までの自らの生活を振り返り、これからしていきたいことを発表し合う。

- ・運動会では、みんなで応援して楽しかったよ。他にも、引き出しを落としちゃったら、みんなが拾うのを手伝ってくれて、嬉しくてみんな笑顔になったよ。仲よしだと、ぼかぼかした気持ちになれると思ったよ。仲よしっていいね。
- ・これからも、一緒に楽しんだり、悲しい時に励まし合ったりできる友達を大切にしていきたいな。

うに、教材を範読し、登場人物と出来事を問いかける。

- 仲のよい友達関係についての問題意識を高められるように、みそさざいとやまがらの関係についての自分なりの考えを発表し合うよう促す。
- 学習課題に対する考えとその根拠を学級全体で共有できるように、全体で発表するよう促す。
- 友達と仲よくすることについて多面的・多角的に考えられるように、メーターを用いて自らの考えた二者の仲よしの程度を常時示すよう促す。
- みそさざいのやまがらを思う気持ちに気付けるように、やまがらの家に行った理由を問いかける。
- 友達よりも自分の気持ちを優先してしまう人間の弱さに気付けるように、うぐいすの家にいたい気持ちの有無を問いかける。
- 共感できる友達が仲よしの友達であることに気付けるように、互いに嬉しいと思う二人の関係が仲よしであるかの是非を問いかける。
- 友達と仲よくすることのよさに気付けるように、みそさざいとやまがらの関係のよさを問いかける。
- よりよい自己の生き方についての思いや願いを明確にできるように、学習を振り返り、これからしていきたいことを発表するよう促す。

評価項目

友達と仲よくすることについて、多面的・多角的に考えたことや、自分との関わりで考えたことを発言したり、記述したりしている。 <発言・学習プリント>

- 今後の生活への意欲をもてるように、生活への見通しを具体的にもてた子どもを賞賛する。

指導計画（全1時間）

ね ら い	みそさざいとやまがらの仲よしの当否とその理由について話し合うことを通して、友達と仲よくすることのよさに気づき、実践しようとする態度を養う。
教材	二わのことり（光文書院）
主題 構成	導入では、明るく楽しい友達のところへ行ってから寂しい思いをしている友達のところへ行く主人公の姿から、友達と仲よくすることについての問題意識をもつことができる。展開では、うぐいすの家にいる時と喜ぶやまがらを見た時のみそさざいの気持ちに着目して考えることで、友達と仲よくすると互いに嬉しくなったり悲しくなったりできることに気付くことができる。
導入	○友達と仲よくすることについての自らの考えを発表し合い、教材から、学習課題「みそさざいさんとやまがらさんは仲よしなのだろうか。」をつかむ。
展開	○学習課題の解決に向けて話し合う。
終末	○今までの自らの生活を振り返り、これからしていきたいことを発表し合う。
他の 教育 活動 との 関連	・ 日常生活で、友達と一緒に活動する場面。